

令和 8 年度第 53 回秋田県看護学会 演題募集要項

1. 目的 会員の研究活動を通じてよりよい看護実践のための情報交換と交流を図ることを目的とする。
2. 開催日 令和 8 年 11 月 18 日(水)
3. 主催 公益社団法人 秋田県看護協会
4. 開催場所 秋田県総合保健センター2 階大会議室 (〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-6)
5. 定員 200 名
6. 参加費 会員 3,500 円 非会員 5,700 円(当日参加は会員・非会員とも+500 円)看護学生 1,100 円
7. 演題は、「研究報告」と「実践報告」の 2 種類の演題を募集する。
 - 1) 研究報告:調査等に基づく研究の成果についてまとめられた、看護の発展につながる報告
 - 2) 実践報告:臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられた、より質の高い看護実践につながる報告
8. 申込み手続き
 - 1) 演題応募資格 秋田県看護協会会員(令和 8 年度入会手続きを済ませた者)
 - 2) 発表形式 口演または示説のいずれかを希望することができます。

ただし、希望以外の発表形式になる場合もありますので、ご了承ください。

 - (1)口演 ・発表時間は一人 8 分です。パワーポイント使用によるプレゼンテーションとなります。
(OS: Windows11, アプリケーション, Windows 版 PowerPoint2019,
スライドはワイド画面(16:9) 横書き アニメーション機能は、使用しないでください。)
 - (2)示説(ポスターセッション)
 - ・示説会場には、1演題につき掲示スペース(縦 210×横 120 cm)を準備します。
 - ・発表に関する詳細・注意事項等は、開催約 1 ヶ月前に送付しますので「発表日時の通知」を確認してください。
 - (3)スライドまたはポスターには、利益相反の状態を明記して下さい。
 - 3) 原稿作成の方法 別紙「原稿執筆要領」「見本」を参照してください。
 - 4) 申込方法

次の(1)～(3)を受付期間内に、折らずに郵送してください。

(4)原稿 B(選考用)については、下記のアドレスに送信して下さい。

応募書類 (1)第 53 回秋田県看護学会演題申込書	…1 部
(2)第 53 回秋田県看護学会原稿提出チェックリスト	…1 部
(3) 原稿 A(集録集印刷用)	…1部
(4) 原稿 B(選考用)	…1部
 - 5) 送付先 〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-6
公益社団法人 秋田県看護協会 学会担当係 秋田県看護学会原稿同封(朱書)
TEL:018-831-8020 E-mail:kyouiku2@akita-kango.jp
 - 6) 演題受付期間 令和 8 年 4 月 27 日(月)～5 月 11 日(月) **必着**
 - 7) 注意事項
 - ・すでに他の学会や他誌へ投稿中、または発表したものは、受付できませんので、ご了承ください。(施設内発表、地区支部発表は可能です)
 - ・投稿された演題は、学会委員が査読を行い、採択を決定し論文として学会集録に掲載いたします。
 - 8) 選考結果 :**7月下旬**にお知らせします。

秋田県看護学会委員会で論文選考基準に沿って選考のうえ、結果をお知らせします。

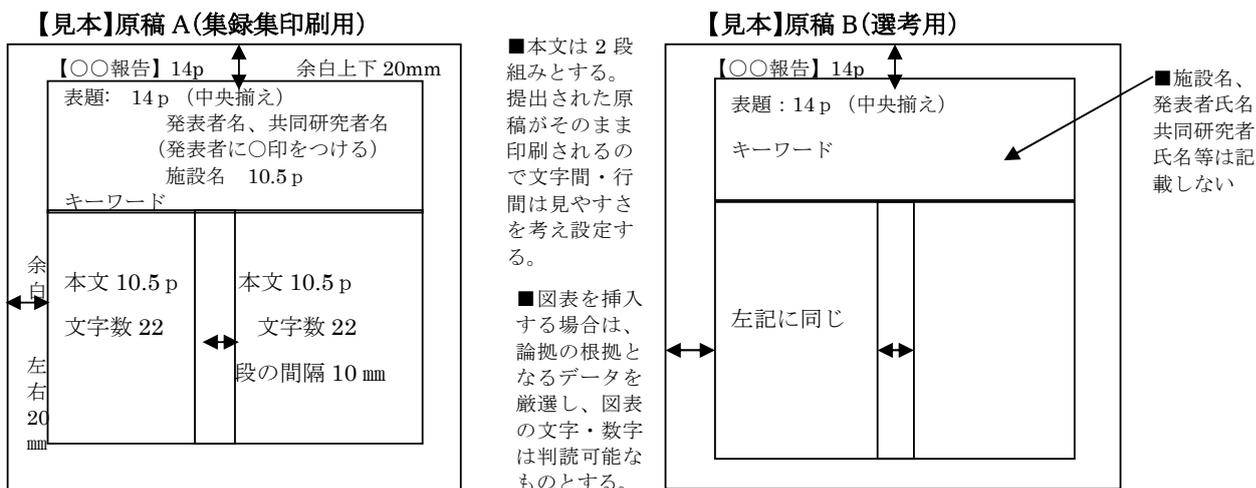
秋田県看護学会原稿執筆要領

1. 原稿は原則として、OSはWindowsとして、ソフトはMicrosoft社のWordを用いて作成する。
2. 原稿はA4版横書き和文で、本文および図表、文献を含め、原稿枚数6枚以内にまとめる。
3. キーワード(論文内容を表す重要な語句)を記載する。キーワードは3つ以上5つ以内とする。
4. 原稿は、以下の項目で記載する。
研究報告:【はじめに】・【目的】・【研究方法】・【倫理的配慮】・【結果】・【考察】・【結論】・【引用文献】
実践報告:【はじめに】・【目的】・【倫理的配慮】・【実践内容】・【結果】・【考察】・【引用文献】
5. 数字の標記について
 - 1) 文章の書き始めの番号は、Ⅰ、Ⅱ... 1、2... 1)、2)... (1)、(2)... ①、②... の順とする。
 - 2) 文中および図表中の数字は、算用数字(1.2.3)またはローマ数字(Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ)を用いる。
 - 3) 英数字は半角を用いる。
6. 文章は新仮名づかいを用い、句読点、括弧は1字とする。
7. 外国語はカタカナを用いる。人名・地名、薬品名等は原則として原語を用いる。
8. 図表は原則として、そのまま印刷に用いるため、白黒印刷で判別できる明瞭なものを作成する。なお、印刷・製版に不適当な図表は修正、または削除を求めることがある。
9. 図表にはそれぞれ番号・タイトルをつける。(図[写真も含む]の場合は下に、表の場合は上に記載する)
10. 文献の記載方法は以下に従う。
 - 1) 本文中の文献記載方法:引用文献のみ記載する。
引用文献は引用順に番号をつけ、本文引用箇所の肩に¹⁾、²⁾などで示す。
研究を行う上で重要な文献(尺度など)の出典は必ず記載する。
 - 2) 文献リスト欄の記載方法
引用文献リストは、引用番号順に番号を入れ記載する。参考文献の記載は、不要とする。
【雑誌の場合】 著者名:表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次).
【単行本の場合】 編著者名:書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次).
【訳本の場合】 原著者名:書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次).
※著者名が3名を超える場合には3名まで挙げ、それ以上は他とする。

11. 原稿作成方法

原稿は2種類作成する。原稿A(集録集印刷用)は表題・キーワード・研究者氏名・所属施設名を記入する。

原稿B(選考用)は研究者氏名・所属施設名を除いたものを記入する(下図参照)。



12. 著作権について:秋田県看護学会集録に掲載された著作物の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は、本学会に譲渡されたものとする。著者自身が利用する場合、これらの権利を拘束するものではないが、事前に連絡すること

【研究報告】

報告の種類を記載

原稿フォーマット

表題○○○○○○○○○○

○秋田太郎¹⁾ 秋田花子²⁾ 秋田次郎²⁾

1)施設名 2)施設名

キーワード ○○○ ○○○ ○○○ (3つ以上、5つ以内)

I. はじめに

先行研究を検討した旨を明記する。
必要により「用語の定義」を記載する。

II. 目的

III. 研究方法

1. 研究期間：
2. 調査対象：
3. 研究方法：
4. データ収集方法：

1)

(1)

IV. 倫理的配慮

V. 結果

表1 ○○○○



図1 ○○○○

※表、図ともに挿入する場合は、文献の後でも差支えはない。

VI. 考察

○○○○ら¹⁾は、「○○○」と述べている。
○○○○ら²⁾は、「○○○」と述べている。

VII. 結論

考察から導き出された結論と本研究の限界

利益相反状態を記載する。

【記載例】

申告すべきCOI状態がない場合

本演題の発表に際し、申告すべきCOI関係にある企業はない。

申告すべきCOI状態がある場合

本演題の発表に関連し○○株式会社から研究者所属看護部へ委託研究費・奨学寄附金等の研究費、および○○について無償で提供を受けている。

引用文献

- 1) 【雑誌の場合】 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次).
- 2) 【単行本の場合】 上記と同様

※1 引用文献は、引用番号順に記載すること。

※2 インターネットから引用する場合は、公的機関から提供される情報(統計・法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。URLに続けてアクセス月日を記載すること。

例：http://www.○○○ (○月○日アクセス)

【実践報告】

報告の種類を記載

原稿フォーマット

表題○○○○○○○○○○

○秋田太郎¹⁾ 秋田花子²⁾ 秋田次郎²⁾

1)施設名 2)施設名

キーワード ○○○ ○○○ ○○○ (3つ以上、5つ以内)

I. はじめに

背景 取り組んだ理由

必要により「用語の定義」を記載する。

II. 目的

III. 倫理的配慮

倫理審査を受けていない場合は、組織的な了承を得ていること、対象者への説明と同意・対象者への不利益や負担の配慮について記載すること

IV. 実践内容

対象者、期間、方法など

V. 結果

表1 ○○○○



図1 ○○○○

※表、図ともに挿入する場合は、文献の後でも差支えはない。

VI. 考察

○○○○ら¹⁾は、「○○○」と述べている。

○○○○ら²⁾は、「○○○」と述べている。

文献を根拠としながら、実践を分析する。

看護実践への示唆・課題・展望

利益相反状態を記載する。

【記載例】

申告すべきCOI状態がない場合

本演題の発表に際し、申告すべきCOI関係にある企業はない。

申告すべきCOI状態がある場合

本演題の発表に関連し○○株式会社から研究者所属看護部へ委託研究費・奨学寄附金等の研究費、および○○について無償で提供を受けている。

引用文献

1)【雑誌の場合】著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次).

2)【単行本の場合】上記と同様

※1 引用文献は、引用番号順に記載すること。

※2 インターネットから引用する場合は、公的機関から提供される情報(統計・法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。URLに続けてアクセス月日を記載すること。

例: http://www.○○○ (○月○日アクセス)

研究における倫理的配慮とその記述方法

1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返して研究することは倫理的に問題があると考えられます。

そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」、「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>キャリアナース」には文献データベース「最新看護索引Web」「J-Dream III」があり、『日本看護学会誌』（第42回～51回）の全文PDFも公開されています。ぜひ活用してください。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞(当院・当病棟も含む)・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

3. 研究対象者の個人情報を保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」(日本看護協会、2004年)、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省、2024年一部改正)、「看護職の倫理綱領」(日本看護協会、2021年)、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省・厚生労働省、経済産業省2023年一部改訂)および所属施設の規定に従ってください。

4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得

られない場合には、家族もしくは病院の倫理審査委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

5. 倫理委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等で承認を受けていることを明記してください。倫理委員会がない場合にはそれに相当する決定機関（幹部会議、看護部、委員会等の会議・会合）など、複数の第三者による組織的了解を得ていることを明記してください。研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究施設の承諾が必要です。倫理委員会の名称は匿名とはせずに実名を用いて正確に表記しますが、倫理委員会の実名を表記することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、『所属施設の倫理委員会』等の表記としてください。

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるため配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取り扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から 本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得たうえで出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（）内に商品名と登録商標の場合は商標®を記載してください。

8. 利益相反の有無を明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護 研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受ける場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを 実証する必要があります。

【記載例】＜利益相反がある場合＞本演題発表に関連して、過去 1 年間に△△社から研究者所属の看護部への委託研究費・奨学寄付金などの研究費、および個人的な講演謝礼を受けている。

＜利益相反がない場合＞本演題発表に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

【記載方法】論文の末尾（引用文献の前）に利益相反状態を記載する

9. 個人情報の取り扱いについて

本学会に提出いただいた個人情報は、受付、各種通知、集録集の編集および発送、問い合わせ等に利用します。

選考における判定基準

選考では、以下の判定基準に沿って選考する。

【研究報告】の総合的判定基準

A. 新規性および意義	看護実践に意味のある知見および研究の新規性が明確に示されている。
B.倫理的配慮	倫理的配慮が適切に行われている。
C.論理の一貫性	目的から結果・考察までに一貫性がある。
	研究目的を明確にしている。
	情報収集方法、分析方法は適切である。
	事実を客観的に示している。
	得られた結果に基づいた解釈をしている。
D.構成の適切性	考察は、文献と照合し検討している。看護実践への示唆・今後の課題・限界や展望を示している。
	得られた結果について簡潔にまとめている。
D.構成の適切性	原稿フォーマットに沿って形式を整えている。

【実践報告】の総合的判定基準

A.看護の視点	看護実践における課題の背景や根拠、取り組みの目的が明確に示されている。
B.倫理的配慮	倫理的配慮が適切に行われている。
C.論理の一貫性	目的から結果・考察（看護実践への示唆）までに一貫性がある。
	問題の全体像を捉え、解決の方向性を見出している。
	実践のねらいを明確にしている。
	実践内容（手順・過程）を明確に示している。
	取り組んだ実践の結果が明らかである。
	得られた結果に基づいて適切に考察している。
D.構成の適切性	考察は、文献と照合し検討している。看護実践への示唆・今後の課題・限界や展望を示している。
	原稿フォーマットに沿って形式を整えている。

（日本看護学会学術集会 演題登録規定 2025年度版参考）

秋田県看護協会看護学会委員による査読のプロセス

- 1.選考における判定基準に沿って委員会が査読を行う。
- 2.査読担当者による「査読意見書」および演題申込者による「査読回答書」により修正し採択に向ける。

令和 8 年度第 53 回秋田県看護学会演題申込書

【論文の種別】 (○をつけてください。) 1. 研究報告 2. 実践報告				
【表題(タイトル)】				
【希望する発表形式】 希望以外の発表形式になる場合があることをご了承下さい。 1. 口 演 2. 示 説 3. どちらでもよい				
【口演発表時のパワーポイントの操作について】 発表スライドは、発表者ご自身で操作してください。				
【所属施設名】 *集録原稿と同じ正式名称				
【部署名】				
【発表者氏名】 *集録原稿に○印のある方の氏名を記入				
	ふりがな	職 種 看護職 は○印	入会手続 (済・未)	秋田県看護協会 会員証番号
【共同研究者氏名】 *看護職の方は発表者、原則として共同研究者ともに秋田県看護協会会員であることが必要。非会員の方は入会手続が必要。 他職種共同研究者は職種欄に職種名を記入。				
*いずれかに○印 確実に連絡がとれるようご記入ください 1. 自宅 2. 所属施設				
【発表者の連絡先】 通知文書送付先				
連絡先住所：郵便番号 (-)				
TEL(日中) :			FAX :	
内線()				
E-mail :				

*発表者および共同研究者は集録原稿の記載と同一とし、氏名の記載順も揃えてください。
 異なっている場合には、集録原稿の記載内容を優先します。

秋田県看護協会原稿提出チェックリスト

* 下記を確認し、原稿・演題申込書と一緒に送付してください。

発表者名 _____

チェック例 : レ

	チェック項目	記入欄
【応募資格】		
1	演題申込者(発表者、共同研究者)は秋田県看護協会の会員ですか *看護職以外の共同研究者は除く	
【原稿】		
2	原稿の内容は他の学会や他誌に発表あるいは、投稿されていないものですか	
3	はじめに、目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論、引用文献等を含めてまとめていますか	
4	使用した尺度やモデルなどの出典(文献)を明記していますか	
5	本文は2段組みにし、A4版用紙で作成していますか	
6	本文、図表等は 白黒印刷で判別できる 明瞭なものになっていますか	
7	原稿は2種類(集録集印刷用と選考用)ありますか	
8	原稿A(集録集印刷用)には、表題・発表者・共同研究者・所属施設名・キーワードを記載していますか	
9	原稿B(選考用)には、表題・キーワードを記載していますか *投稿者を特定できないようにするために、選考用には氏名・所属を記載しないでください	
【倫理的配慮とその記述】		
10	対象者へ内容および結果の公表等について説明し、承諾を得ていますか	
11	対象者が特定できないように配慮していますか	
12	固有名詞(当院・当病棟を含む)は使用せず、匿名にしていますか	
13	対象者に不利益や負担が生じないように配慮していますか	
14	当該施設の倫理委員会(またはこれに相当する会議)等でデータ使用と公表の承認を得ていますか	
15	文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し、出典(文献)を明記していますか	
16	既存の尺度を使用または改変する場合、作成者から許可を得たうえで出典(文献)を明記していますか	
17	論文の末尾(引用文献の前)に利益相反状態について明記していますか	
【演題申込書】		
18	表題、発表者名、共同研究者名、所属施設名は原稿と同じ記載になっていますか	
19	発表形式の希望に○をつけていますか	
20	秋田県看護協会会員番号を記載していますか	
【送付方法】		
21	封筒の表には「秋田県看護学会原稿同封」と朱書きし、折らずに封入しましたか	
22	「原稿 B(選考用)」は、看護学会担当者のメールに送信しましたか	